

保険料の値上げを抑え、介護保険の充実を

小西幸男議員は、3月11日、一般質問をおこない、介護保険の改善・充実と家具転倒防止対策などについて町当局の見解をただしました。

保険料、利用料の減免を

小西幸男議員質問 今年4月から、第4期が始まる。保険料の引き上げが予定されているが、第4期の保険料はいくらになるか。

将来的には、保険料を所得に応じた応能負担とし、利用料を無料にするよう、国に求めると同時に、町としても助成の拡充を図りたい。

国、県に要望

答弁 第4期の介護保険料は、3980円である。

平成19年に、愛知県内全町村共同で、国・県に要望書を提出し、平成20年には、全国町村会で介護保険制度の円滑な実施について要望した。

利用者の立場に立った介護認定を

小西幸男議員質問 平成21年度から、介護認定制

度が大幅に改悪され、多くの利用者が介護サービスから排除されようとしている。

認定の軽度化、介護取り上げを中止するよう、国に求められたい。

適正な認定に努力

答弁 現在、審査委員が調査員からの調査結果を受け、主治医の意見を聞き認定している。利用者の実情を踏まえて、適正に認定されるものと信頼している。

介護労働者の労働条件

小西幸男議員質問 介護労働者の劣悪な労働条件改善のため、介護報酬のさらなる引き上げを国に求めるとともに、町独自の助成も図りたい。



町独自の助成は困難

答弁 平成12年に介護保険発足以来、介護報酬が引き下げられてきた。

介護労働者の相次ぐ離職にともない、政府は今年4月3%引き上げて、労働条件の改善を行う。

町独自の助成については困難である。

家具転倒防止対策は

小西幸男議員質問 近年、東海地震、東南海地震の発生が危惧され、地震発生に対処するための対策が行われている。家具転倒防止対策は、どのようなになっているか。

ガイドブックなどでPR

答弁 平成16年度に発行した「武豊町震度災害ガイドブック」や今年2月に発行した「地震防災マップ」の中に、家具転倒防止や安全空間確保の手段などを

掲載してPRしている。

非難場所の徹底は

小西幸男議員質問 住民への避難場所の徹底は。

町内21箇所を指定

答弁 6小中学校、武豊高校、総合体育館、中央公民館、町民会館、老人憩いの家、3児童館、砂川会館など21箇所を指定している。

防災倉庫の設置箇所は

小西幸男議員質問 何箇所設置されたか。また、保管されている主な器具はどうか。

22箇所・27種類の用具

答弁 防災倉庫は平成11年度に4小学校区、平成12年度から19年度までに、18自主防災会の地区に、計22箇所27種類の用具が保存されている。